

レゾナック HD が 23/12 期業績予想を公表 直ちに格付に影響せず、今後の業績回復の進捗を注視

以下は、株式会社レゾナック・ホールディングス（証券コード：4004）の23/12期業績予想についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は15日に、23/12期第1四半期決算とともに、これまで未定としていた通期業績予想を公表した。同予想では、売上高は1兆3,400億円（前期比3.8%減）、営業損益は200億円の赤字（22/12期は617億円の黒字）、最終損益は460億円の赤字（同324億円の黒字）を見込む。セグメント別の営業損益では、ケミカルおよびイノベーション材料は底堅く黒字を確保するが、半導体・電子材料が220億円、モビリティも25億円の赤字の予想となっている。また、HDメディア、モビリティを中心とした構造改革の実施に伴い、相応の特別損失が計上されるものと見られる。
- (2) 半導体市場の調整やデータセンター投資の減速などの影響を受け、足元の業績は厳しい。ただ、半導体・電子材料、モビリティとも、市場環境の回復や構造改革の進展に伴い、業績は持ち直してくると考えられる。また、これらが中長期的な成長ドライバーとなる事業戦略に変更はないと見られる。最終赤字の計上で財務面に悪影響が生じることは避けられないが、22/12期末で5,503億円（劣後ローン2,750億円の資本性を考慮しないベース）の自己資本があり、一定の財務耐久力が認められる。今回の通期業績予想の公表をもって、直ちに格付を見直す必要はないとJCRでは判断している。今後、業績回復に向けた取り組みとその進捗を注視していく。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

【参考】

発行体：株式会社レゾナック・ホールディングス
長期発行体格付：A 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル